

△次に家庭の方への注文としては、第一子供の活動寫眞道樂を過度ならしめぬ様に制すること。第二、夜の活動寫眞へやるにしても、娛樂の爲に規定の就眠時間を破る様のことにはさせぬこと。第三子供を獨りでやる時は勿論、或ば自分が連れて行く時にでも、先づ其の活動寫眞が如何なる材料のものかと云ふことを善く調べてからの後にすべきこと。大人向と子供向との別が出来た時に、自分が子供の方のお相伴はしても、子供に大人向の方のお伴をさせぬこと。最も之は單に活動寫眞に限らない。一獨の遊覽が皆さうである。乳呑兒を抱えて人込雜沓の中へ物見に行く若いお母さん、三四歳の子供を連れて寄席などへ来て居る人、其の他此の類のことは往々にして見受けるが甚だ怪しからぬことである。

△尙又當局の取締の上に於て、從來の諸種の注意の他、總ての娛樂的興業物、殊に見物人の種類の不定に廣い此の活動寫眞の如きものに對して、子供向と否との別を嚴重に指定なり制限なりすることは出来ないことであらうか。何しろ、活動寫眞

の如き比較的新しい而も社會的關係の甚だ小ならぬ問題に對しては教育的又社會的等の諸方面から充分研究する必要があると思ふのである。(報知)

家畜の馴らし方を

見て

芙蓉子

十七世紀の中葉に出でたる教育改革家の急先鋒たる獨乙の「コメニユース」と云ふ人は當時の不合理なる教育の方法を痛罵して自然は能く萬物を化育する、人間も此自然界に生活する以上は自然の進行を觀、自然の活動を察して、其處に人類教育の方法を見出さなければならぬと絶叫したそうですが全く鳥や獸の生ひ立ちを察して見ても心ある人には如何に人類の子供は教育せらる可きかは判るまで御座います。注意した人は犬や猫を馴らすに於ては如何に其性能を察して之をしつける方

法を講じて居ります。其如何なる點に注意して、如何に之を導いて行くかと云ふことは吾々幼児教育に關係するものに採りては中々參考になることが澤山あります。左に記するのは某愛猫家が猫の仔をしつけるに就いての實驗談です。一場の話柄とのみ聞き流しても、相應に面白いことで御座います。此話に鑑みて人の子を教育する方法は何處に見出す可きかと云ふことを思ひ合せると又一層の味がある様に思はれます。御參考の爲めに其話を左に掲げて見ませう。

○日本の猫は種類の中で最も柔順なものです。従て鼠を捕るといふ點に於ては獨逸産のものなどよりも幾分劣る氣味がありますが猫を愛育すると云ふ點から見ると却々興味が多しやうです。然るに多くの家庭が大概之を放任して育てる爲めに、お客様の膳の前へノサバリ出て鼻を掻かしたりお香の臭ひでもすると切りに啼き立て、強要むたり、甚しいのは一寸眼を離して居る間に機敏に魚や肉を掠て行くやうなのが有りますが、幸に來客が愛猫家であれば可けれどもお嫌ひな方杯には頗る御迷

惑な譯です、ですから猫兒の時分から餘程大切に育てなければなりません、御承知の通り猫は人間と違つて智識の發育が速いので、人間で八年も十年も要る所を五六ヶ月で躰けんければなりません、それ故一層絶えず監視して躰けないとズンズン獸的性情が發育して到底救ふことが出来なくなるものです。

○兒猫を母猫から離すには大概生後一ヶ月位の所が宜しいといふ事ですが、實は廿二三日位から離しても可いと思ひます中には眼を開いてから一ヶ月といふ方もありますけれども、それでは母猫の悪い癖杯が感染しますから成るべく早く離れた方が可いやうです。

○此時分に與へる食物は、牛肉で葛湯を拵らへて大抵冷えた所を與へるが宜しい、生後二ヶ月頃からは魚肉も成るべく與へないやうにするのです。お香杯の臭が致しますと、もうをろ／＼鼻を動かして欲しがりますが、決して與へないが宜しやうです、魚肉を食へさせますと必と便が軟かに成て

ツイ下痢を起すやうな事が出来て、自然糞仕の悪くなる憂ひがあります

○母猫から離してからは、食事の場所を一定して其場所以外では一滴の牛乳も食べさせないやうにするのみならず、食物を翻して置くとそれを拾つて食べますから、注意して落して置かないやうにせんければなりません、是がお行儀を覺える基になるのです。

○粥を與へるやうになりますと少々宛肉類を食べさせますが、それも當分は魚肉許りで獸鳥肉は不可ません、旋て生後三ヶ月半も経ちましてから始めて牛肉の軟かなのを與へるのですが、生の肉は魚肉にせよ獸肉にせよ決して與へてはなりません、管に行儀が悪くなる許りでなく生の肉を食べつけますと鼠を捕らなくなりません

○夏生れた猫は虫を捕つて仕様のないものです一度虫を捕る所を見たら、蜻蛉でも蝶々でも捕へて来て其羽なり體なりに唐辛水をつけて猫の前へ投て遣るのです、猫はそれを知らずに甜める、辛いで驚いて退つて了ふ、三たびも斯うして遣れ

ば最う懲りて捕らなくなりません。

○又冬になると猫は至つて寒がるもので兎角床の中杯へ這入りたがりますが、之は畢竟猫の床を暖かくして遣らない爲ですから成るべく猫の床を完全に造つて遣る事が必要であります、完全にと云ひまして別に大した事は要りませんが猫の床は大抵「く」の字なりに墜道を造つて其中央に懷爐を入れて遣るのです、懷爐は裸で入れて置くと危険ですから薄い蒲團の下に入れるが宜しいやうです、湯婆ならば尙一層妙ですけれども面倒で仕様がありません

○幾ら猫でも餘り無暗に叱るのは宜しくありません、殊に矢鱈打つたり叩いたりすると終ひには性質が遅鈍になつて根性が悪くなります、ですから時々人の顔色を見てコン／＼と悪いことなどを致します、殊に猫は背中の方を打つのは甚だよくないやうです、昔の人は猫がナイラを起すとか申して嚴ましく云ひます何でも打たないのに限ります

普通何所の家でも猫の食事を時無しにさせます

が、あれは最もよくない事だと思ひます、第一猫の衛生の上に甚だよくありません、殊に此時無し
の食事の癖がある爲に絶えず物を欲しがります、始めて牛乳の葛湯を與へます頃から、何時と何時といふ様に癖をつけて、其時間の外は決して何ものも與へないやうにすれば終ひには習慣性になつて了ひます

○それでは何時頃に與へるかと思ひますと、家庭によつて各々違ふ事でありませうが先づ一日に五度位やるがよいと思ひます、考へた方は三度位が可いと仰有るやうですが、寧ろ少々宛何度かに與へた方が宜しいでせう

○時間は前に申します通り家庭によつて違ひませうが、夜は必ず七時頃に一度與へる事にしたいものです、猫の方では夜中でも起きて居ますから随分とお腹も空きます、それなら十時頃に與へても可いやうですけれども、それでは鼠の番をしなくなり七時頃に與へて置きますと恰ど鼠が暴れ始めると一時二時頃に感てお腹が空いて來ますから自然鼠の番をするやうになります

猫のお腹は毎日洗はない家があります、あれは衛生上甚だ宜しくありません、最も酷いのは一週間に一度位しか洗はない人がある、那樣のは猫の爲許りでなく人間の爲にも不潔で見るからに悪感を催します、ですから猫の皿は食事毎に洗つて遣らなければなりません

○次に猫は至つて物を食べる事が下手でして屹度齧したり積したりします、元來猫は犬杯と違つて必ず食物を食ひ残す癖があるものですから、一度に澤山與へても食べ盡すといふ事がない、それ故食物は面倒でも少し宛五度位に分けて與へなければ不可いのです

種痘の心得

S K 生

今年の四月に改正になつた種痘法は、愈來年の一月一日から施行されます、從來の規則よりも大層難かしくなつて迂かりして居ると罰金を食はねば